

令和5年6月14日

県民文化スポーツ部
いしかわ百万石文化祭推進室
担当者 杉本、荒家
内 線 4347
外 線 076-225-1353

いしかわ百万石文化祭 2023
高校生ARアート制作ワークショップの実施について

令和5年秋に開催する、第38回国民文化祭及び第23回全国障害者芸術・文化祭である「いしかわ百万石文化祭 2023」では、大会期間中に県内観光地等で展示されたARアートをスマホで巡る企画を予定しており、このたび、県内高校生にも参加できるように、世界最先端技術のARアート制作を学び、体験してもらう特別企画「高校生ARアート制作ワークショップ」(Meta 日本法人 Facebook Japan 協力)を実施する。

なお、ワークショップを通じて完成した作品は7月1日より、Instagram(インスタグラム)の専用アカウントで公開を予定しており、大会のPRとしても活用していく。

◇高校生ARアート制作ワークショップ概要◇

能登、加賀、金沢の各会場2回のカリキュラムで実施。

県内高校生 計5校、約30名が参加予定。

<1回目 ガイダンス及び初級編>※実施済み

能登会場 6月10日

金沢会場、加賀会場 6月11日

<2回目 中級編及び制作>

能登会場 6月17日 13:00~16:00

金沢会場 6月18日 9:00~12:00

加賀会場 6月18日 13:00~16:00

金沢会場を取材ください

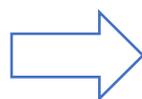
日 時	令和5年6月18日(日) 9:00~12:00
実施場所	金沢未来のまち創造館 2階多目的室
参加高校生	約10名(県立工業高校、県立金沢辰巳丘高校の生徒)
講師	Facebook Japanが実施する次世代XRクリエイター向け教育プログラム「Immersive LearningAcademy」AR講師
内容	高校生が自身で描いた絵(マスク)をパソコン操作し、ARアートとして作り上げる ※制作作品は7月1日にInstagramで公開予定 ※制作する作品の例は別紙のとおり

ワークショップで制作する作品について

制作するARアート（エフェクト）は石川県で受け継がれてきた能楽や祭りなどに使用する面（マスク）をモチーフとし、完成したARアート作品についてはインスタグラム上に公開展示

※下の画像は昨年度、県内の高校で試験的にワークショップを実施した際のARアート作品の事例

スマホのカメラを自分自身や友人の顔にかざすと下のように顔にAR（エフェクト）効果がつくということをイメージしながら2枚のアート（マスク）を作成し、講師の指導を受けながらパソコンでAR（エフェクト）効果を付ける



口を開けるとAR（エフェクト）が変化する効果を付ける

◇ワークショップの取材対応について

金沢会場で開催する2回目のワークショップ（6月18日 9:00～12:00）に、是非取材をお願いします。

取材を希望される場合は、下の「取材申込書」に記入の上、取材申込期日までに、いしかわ百万石文化祭推進室までFAXでお申し込みください。

石川県県民文化スポーツ部いしかわ百万石文化祭推進室 宛て
(FAX 076-225-1496)

いしかわ百万石文化祭 2023

高校生ARアート制作ワークショップ

取材申込書

申込期日：6月16日（金）15:00

報道機関名：_____

御担当者名：_____

連絡先 TEL：_____

FAX：_____

Mail：_____

【事務担当】

石川県県民文化スポーツ部

いしかわ百万石文化祭推進室 杉本、荒家

TEL:076-225-1353 (内線:4347)

FAX:076-225-1496